

# 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立西小学校

## 1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- 対全国比の平均正答率は、全教科（国語・算数・理科）おおむね良好な結果でした。無解答率も全般的に低く、最後まで粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が見られました。
- 全教科、記述式問題の正答率において良好な結果でした。
- 国語では、「書くこと」、「読むこと」に関する設問において、良好な結果でした。「話すこと・聞くこと」には課題が見られました。
- 算数では、「数と計算」、「図形」、「変化と関係」、「データの活用」のすべての領域において、良好な結果でした。
- 理科では、「粒子」を柱とする領域において、良好な結果でした。特に「地球」を柱とする領域には課題が見られました。

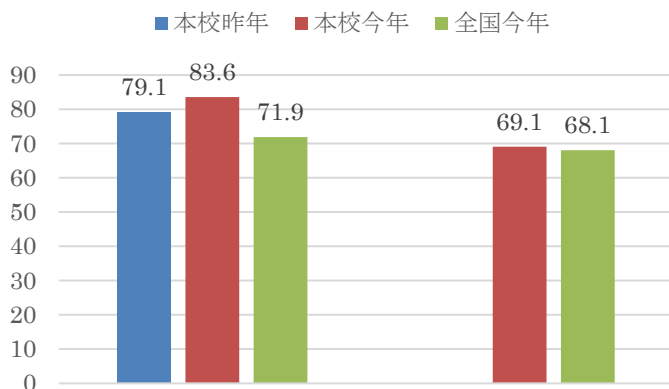
## 2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「書くこと」に関する設問では、文章に対する感想や意見を伝え合い、その文章のよさを見つけることにおいて良好な結果でした。授業の中で、文章構成を考えながら、整った文章を書く活動を取り入れてきた成果が表れています。</li><li>• 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを理解することができています。授業の中では、相手の意見のよさを認めながら、話し合いを進めていくことの良さを指導してきた成果が表れています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 話し言葉と書き言葉との違いを理解する問題に、課題が見られました。書き言葉だけでは言葉の意味が伝わりにくい場合、相手に丁寧に話して説明することの指導を充実させていきます。</li><li>• 「話すこと・聞くこと」では、話し合いの中で相手が伝えたいことや、自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題が見られました。どの教科においても、話し合い活動の充実を進めていきます。</li></ul>

算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「数と計算」において、目的に合った数の処理の仕方を考察することにおいて、おおむね良好な結果でした。学習したことを具体的な場面に適用し、数量を適切に処理することの指導を継続してきた成果が表れています。</li> <li>• 図形の意味や性質を基に、コンピューターを用いて作図したり、示されたプログラムからどのような図形ができるかを判断したりすることにおいて良好な結果でした。図形について、構成要素に着目しながら考察し理解をすることや、プログラミング学習を進めてきた成果が表れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する問題に課題が見られました。演算の意味を理解するとともに、演算決定する際の自分なりの根拠を記述する指導の充実を図ります。</li> <li>• 数量が変わっても割合は変わらないことを理解する問題に課題が見られました。二つの数量と割合の関係を図や式を用いながら、考えを交流する場の充実を図ることで、確かな意味理解につながるよう取り組んでいきます。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点から分析や解釈を行い、自分の考えた内容を記述することにおいて、おおむね良好な結果でした。観察や実験結果について話し合い、新たな問題を見いだしていく指導を継続してきた成果が表れています。</li> <li>• 実験で得た結果を、問題の視点から分析や解釈を行い、自分の考えをもち、その内容を記述することにおいて、おおむね良好な結果でした。実験結果の分析や解釈をまとめる際、その根拠を言葉や図で記述する指導を継続してきた成果が表れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して改善し、自分の考えた内容を記述することに課題が見られました。予想したことを確かめるための方法が妥当かどうかを検討し、その内容を記述する取り組みを進めていきます。</li> <li>• 日光は直進することや、水は水蒸気になって空気中に含まれていることについての理解に課題が見られました。今後よりいっそう、児童が主体的に問題を解決する学びの過程を重視し、生きて働く知識を習得できるよう指導の充実を図ります。</li> </ul>

### 3. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉



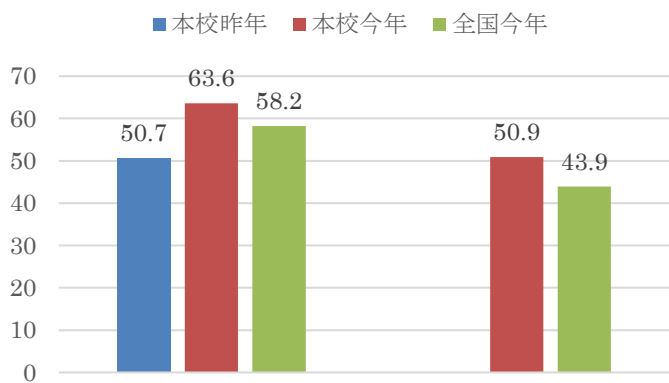
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦する

困りごとや不安がある時は、先生や学校にいる大人に相談する

（※昨年は質問無し）

失敗をおそれず挑戦することは、子どもたちの成長においてとても大切なことです。

今後も子どもたちが挑戦できる機会を様々に設け、教職員がよりよき支援者となるよう努めていきます。



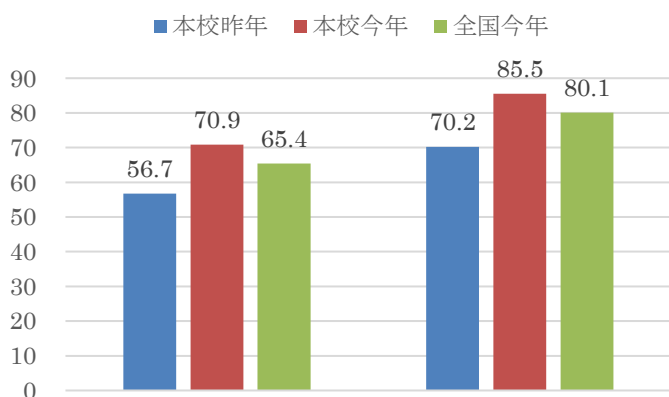
授業で週3日以上、タブレットPC等のICT機器を活用した

調べ学習で週3日以上、タブレットPC等のICT機器を活用した

（※昨年は質問無し）

授業で、タブレットPCを有効に活用してきた成果が表れています。

今後も子どもたちが自身が様々な情報にアクセスしながら、主体的に情報を選択する力を伸ばします。また、一人ひとりの学習の進捗状況を把握しながら、きめ細やかな指導を進めていきます。

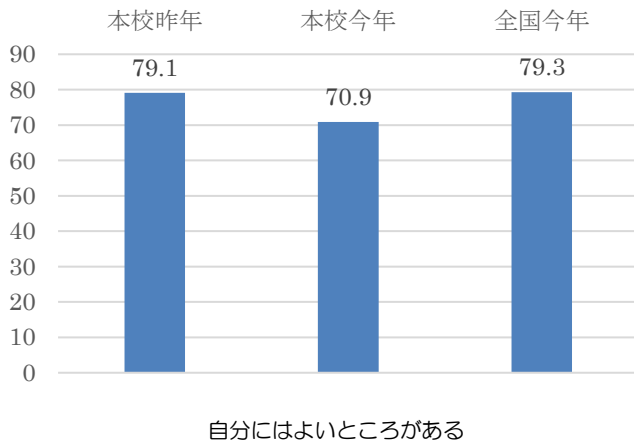


資料や文章を使い、自分の考えを工夫して伝えている

話し合いを通して、考えを深めたり広げたりしている

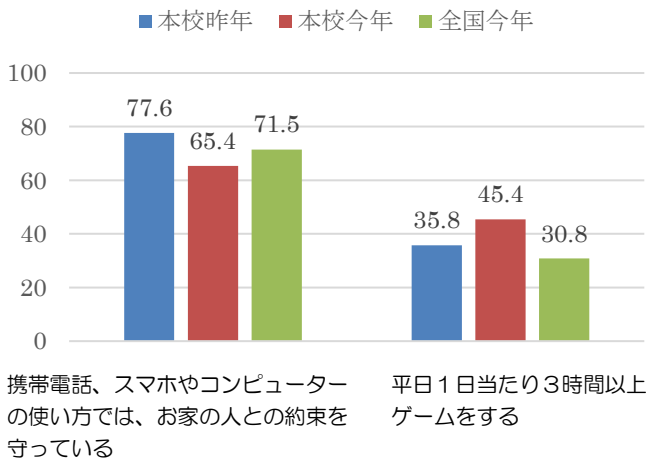
本校の研究テーマ「自ら学び、考え合う子どもの育成をめざして～根拠をもって、思いや考えを書く力を育てる～」の実現に向けた授業づくりの成果が、子どもたちの学びの資質・能力の向上につながっています。今後も書くことや話し合いの学習を進め、子どもたちの学びを豊かなものにしていきます。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

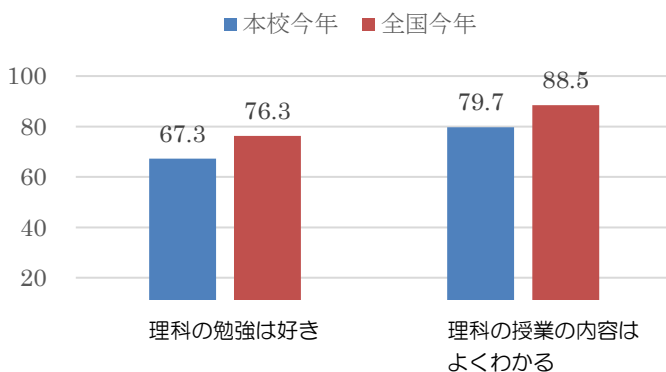


自己肯定感に対する肯定的回答の割合が減っています。今後子どもたちの成功体験とともに、教職員からの肯定的な言葉がけをさらに増やしていきます。また、自己肯定感を高める取組みや、授業づくりについても研究を進めていきます。

ご家庭でもお子様のよさを見つけ、言葉にして伝えてあげてください。



携帯電話やスマートフォン、コンピューターの使い方について、指導をしているところです。子どもたちをネットトラブルから守るとともに、基本的な生活習慣の定着についても、ご家庭と協力して取り組んでいきたいと思えます。



学力テストの結果はおおむね良好な結果ではありましたが、子どもたちの理科の学習に対する情意面において課題が見られました。

授業では、見通しを持った予想の後に実験や観察を行い、結果の検証を問題解決的に進めていくことで、児童の主体性を育てていきます。

#### 4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

##### 【国 語】

- 朝の学習や宿題、自主学習などを通して反復を行い、漢字の定着を行います。
- 相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の考えを話すことができる、よりよい話し合いの学習場面を多く設けていきます。
- 自分の考えや意見の根拠を示し、相手に伝わるように書く力をつけていきます。
- 朝の学習時間を有効に使い、児童が初めて読む文章から問題を解く練習を行うことで、内容の読み取りの力を伸ばします。

##### 【算 数】

- 朝の学習や宿題、自主学習などを通して反復を行い、計算力をつけていきます。
- 答えだけを求めるのではなく、答えに至るまでの式や図の意味を話し合う場面を多く取り入れ、結果までの思考過程を大切にしながら、確かな意味理解ができるようにします。
- 生活の中で活用できる場面を意識的に取り上げ、応用力や活用力を伸ばします。

##### 【理 科】

- 問題に対して見通しを持った予想を立て、観察、実験の結果を基にして考察できる力をつけていきます。
- グラフなどの資料の読み取りを必要とする場面を、意図的に設けていきます。
- 児童が主体的に関わり、話し合いを通して新たな知識を得ることに喜びを感じられるよう、授業改善を進めます。

##### 【教職員の授業力向上】

今年度は「自ら学び、考え合う子どもの育成をめざして～根拠をもって、思いや考えを書く力を育てる～」というテーマのもと、有識者を講師に招き、教職員の授業力向上に努めています。日々の授業を大切にするとともに、校内研究授業を行い、全教職員で子どもたちの書く力の向上をめざしています。また、子どもたち一人ひとりが自分の意見を持ち、自信をもって友だち同士で伝え合うことができる場面を設けていきます。



##### 【ICT の活用】

今回の全国学力・学習状況調査では、無解答率がどの教科も低く、良好な結果でした。これまで、タブレットPCをはじめ、ICT機器の活用を進めてきた成果が表れています。朝の学習や宿題等で、タブレットドリルを用いた漢字や計算の反復とともに、理科や社会科についても言語活動の充実に取り組んできました。算数においても、プログラミングに関する問題の正答率は全国の正答率を大幅に上回りました。今後も子どもたち一人ひとりの学習の状況を的確に把握し、個人の習熟度に応じてICT機器を有効に活用することに努めていきます。



## 5. 保護者・児童のみなさんへ

### 【児童のみなさんへ】

日頃、西小学校の6年生として下級生をリードしてくれているみなさん、児童質問紙では「友達と協力するのは楽しい」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と答えていた人がたくさんいました。このような心を抱いて、日々の生活を送ることは何よりも大切なことです。

これからも人とのつながりを大切にし、自分の周りの人の気持ちを思いやることができる人に成長していきましょう。

また、人には自分にしかないすてきなところがあります。先生たちもあなたたちのすてきなところを見つけ、励ましていきますので、みなさんも自分自身の良さを見つける努力をしていきましょう。たとえ「今は見つからないよ。」という人がいても、これから必ず見つけることができますよ。

授業中は落ち着いた態度で、まずはしっかりと自分自身の考えを持ち、友達と意見交流しながら考えを深めることができます。どの教科においても、そのような学習を積み重ねてきた成果が、今回の全国学力学習状況調査にも良い結果として表れていました。児童質問紙での回答も「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の項目は、全国の小学6年生よりも高い結果でした。

今後も、友達と協力し合いながら新しい発見や考えを見つけることに喜びを感じられるよう、学習を進めていきましょう。

### 【保護者のみなさんへ】

児童質問紙からは、家庭での基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）をしっかりとつけていただいていることがよく分かりました。また、「家で学校からの課題で分からないことがある時は、そのまま放っておくのではなく、お家の人に尋ねたり友達や先生に聞いたりする。」という回答も多く、家庭での学習をしっかりと進めていただいている様子も分かりました。

学校では、子どもたちに「思いやりの心」と「自己肯定感」を育てる一環として、感謝の思いを持って「あいさつ」ができる子どもの育成に努めています。また、自己肯定感を高めるためには、私たち大人が一人ひとりの子どもが持つ良さを見出し、その良さを褒めて伸ばしていくことが大切です。

今後もぜひ、「あいさつの大切さ」と「お子さまのきらりと光る良さ」をお話していただき、子どもたちの成長を豊かなものにしていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。